MORIOKA SHINKIN BANK
SINCE 1903

DISCLOSURE 2024

ディスクロージャー2024・盛岡信用金庫の現況

企業編

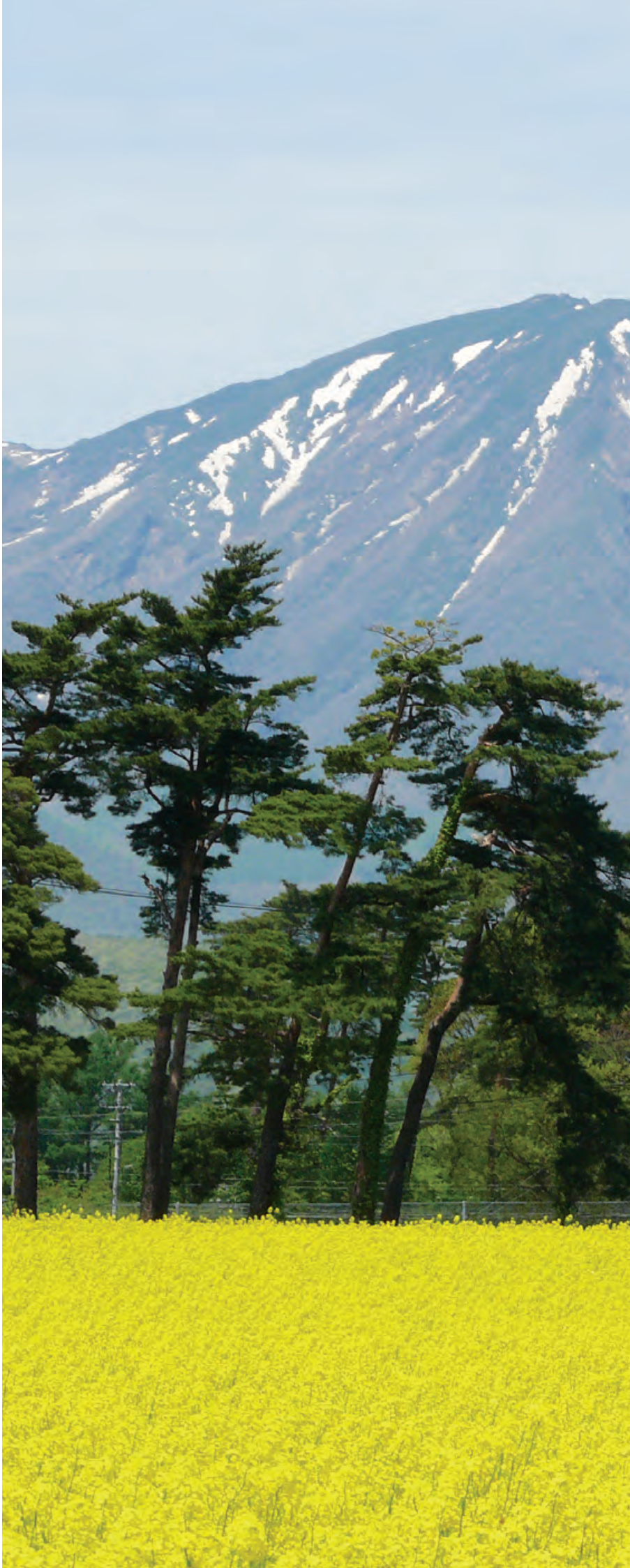
盛岡信用金庫

盛岡信用金庫プロフィール（2024年3月31日現在）

名　　称	盛岡信用金庫
本店所在地	〒020−0871 盛岡市中ノ橋通一丁目4番6号
電話番号	019−623−2221
設　　立	明治36年（1903年）1月19日
店舗数	23店舗
会員数	32,042人
出資金	18億96百万円
総資産	2,702億18百万円
預金残高	2,619億97百万円
貸出金残高	1,266億51百万円
自己資本比率	8.11%
役職員数	常勤役員　7名 職　員　203名

CONTENTS

盛岡信用金庫プロフィール …… 01
経営理念・基本方針 …… 03
ごあいさつ …… 04
事業の概況・取組み方針 …… 05
SDGsへの取り組み …… 07
地域密着型金融の取組み …… 09
お客さま満足度向上への取組み …… 16
お知らせ …… 17
店舗一覧 …… 18



あなたのそばに
もっと身近に

【経営理念】

当金庫は、明治36年（1903年）の創立以来121年の永きにわたり、協同組織金融機関として共存同栄（地域に根ざし、地域と共に発展する）の精神のもと、一貫して「地域社会の発展と、ゆたかな暮らしづくりをめざして」を基本理念に歩んでまいりました。

地域の皆さまから「愛され」「信頼される」地域金融機関として、経営の健全性を確保し、より良質な金融商品とサービスの提供に努めてまいります。

【基本方針】

中小企業と一般大衆の地域金融機関として、金融の円滑化を図り、地元産業経済の繁栄に奉仕し、もって日本経済の発展に貢献します。

【経営方針】

収益力の強化
意欲と情熱をもって積極的に行動を起こし、攻めの営業に転じ収益力を強化し堅固な経営基盤の構築に努めます。

経営の安定と発展
常に健全経営を維持し、金融機関としての信用を高め、不断の発展を図ります。

社会への奉仕
地域社会ニーズへの対応を社会的責任と認識し、広く金融サービスの向上に努めます。

調和ある経営
会員、取引先との調和の取れた経営を行い、役職員との融和により、事業の組織的運営を行います。

働きよい職場
職員の創意を尊重し、人材の登用と資質の向上を図ります。

Top Message

ごあいさつ

皆さまには、平素より私ども盛岡信用金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

本年も、当金庫の「ディスクロージャー2024」を作成しましたので、ご高覧賜りますようお願いいたします。

さて、わが国経済は、新型コロナウイルス感染症が第5類に分類され、徐々にではありますが、回復傾向にあります。金融市場においては、地政学的リスクの高まりや、日米欧の金融政策の方向性の違いなどから、市場の急激な変動を常に意識した対応が求められます。

また、中小企業においては、調達コストや人件費の増加等による経費上昇分の価格転嫁が難しい中、少子化の急激な進展、高齢化、人口減少により市場規模が縮小していることに加え、人手不足や後継者難等もあり企業存続に関わる重大な局面にあります。

令和5年度は、新中期経営計画の初年度として、お客さまの本業支援をはじめ各施策の完遂を目指し、役職員一丸となり全力で取組んでまいりましたが、中小企業・地域金融機関を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このような中、貸出金期末残高は、ゼロゼロ融資の返済の本格化に加え、金融機関向け貸出の償還により1,266億51百万円となり前期比3.62%の減少、預金積金期末残高は、上述のゼロゼロ融資の返済のため預金の取り崩しなどにより、2,619億97百万円となり前期比1.42%減少しました。また、収益面においては、長期間におよぶ新型コロナウイルス感染症の影響を受け、与信関連費用が増加し、当期純利益は14億60百万円の損失計上となりました。

なお、金融機関の安全性・健全性を示す指標であります自己資本比率は、国内基準の4%を上回る8.11%となりました。

令和6年度は、中期経営計画「～サステナブル経営の実現に向けた創造と挑戦～情熱大陸作戦Ⅱ（第2ステージ）」の中間年度となります。企業風土改革をはじめとした改革を一段と進めてまいります。常にチャレンジする精神を持ち、何をすべきかを具現化していくことが、当金庫のみならず、地域の発展、お客さまの幸せに資するものと考えております。

金融機関を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、お客さまへのビジネスマッチ等による本業支援をはじめ経営改善・企業再生支援、M&Aを活用した事業継続支援、DX支援など、お客さまが抱えている課題に向き合い、共に解決していく必要があると認識しております。

当金庫は、お客さまを全力で支援してまいります。お客さまの課題を細かにお聞きし、これまで以上に地域に密着し、お客さまに寄り添ってまいります。また、職員が健康で、より一層誇りを持てる職場になるよう取組んでまいります。

当金庫は、永続繁栄していくため、旧態依然ではなく、役職員全員が情熱を持ち、一致団結し「創造と挑戦」により時代に即した対応を図り、当金庫の価値向上・地域の発展と皆さまの幸せに貢献できるよう取組んでまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

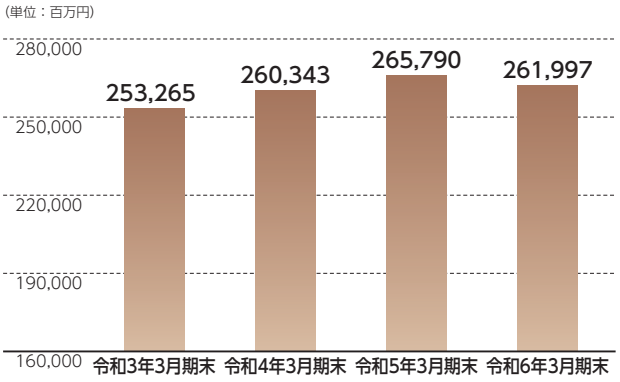
令和6年7月

理事長　浅沼　晃

預金残高の推移

[預金]

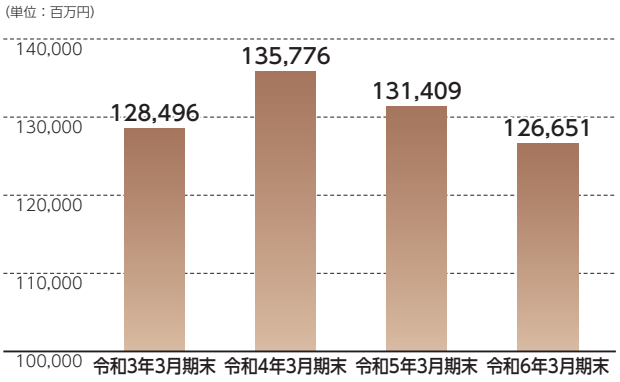
コロナ収束に伴った経済活発化等により、預金残高は2,619億97百万円（前期比37億93百万円減少）となりました。



貸出金残高の推移

[融資]

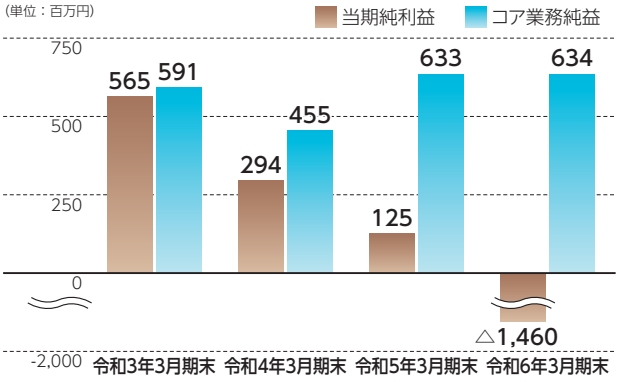
消費者ローン等、個人向け融資が増加したものの、ゼロゼロ融資や地公体貸出等の償還により、貸出残高は1,266億51百万円（前期比47億58百万円減少）となりました。



当期利益の推移

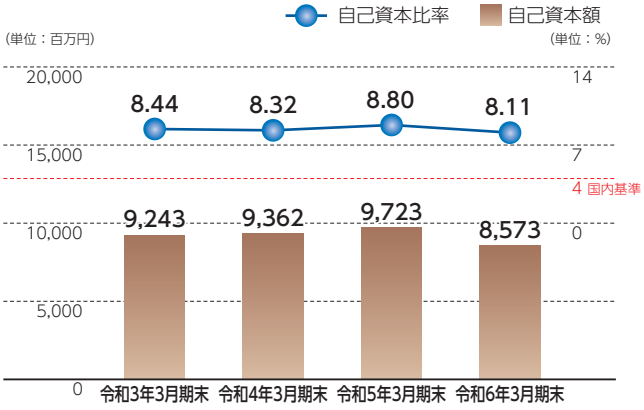
[収益]

当期純損失は14億60百万円（前期比15億86百万円減少）となりました。金融機関の本来業務での収益力を示すコア業務純益は、6億34百万円（前期比1百万円増加）となりました。



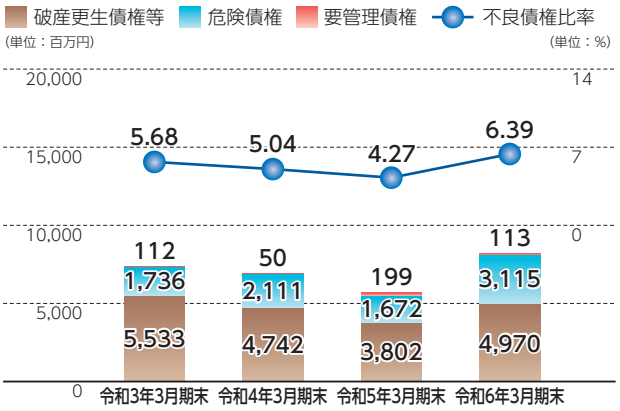
自己資本比率

自己資本の額は、85億73百万円（前期比11億50百万円減少）となりました。自己資本額の減少により、自己資本比率は8.11%（前期比0.69ポイント減少）となりました。こちらは、国内で業務を行う金融機関に義務付けられている自己資本比率4%を大きく上回っており、経営の健全性については全く問題ございません。



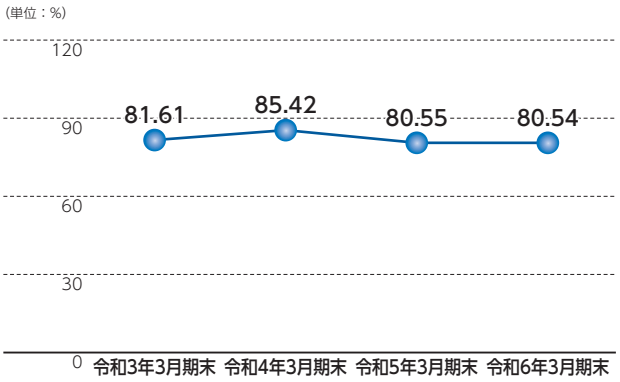
不良債権比率

金融再生法に基づく不良債権残高は、82億円（前期末比25億26百万円増加）となり、不良債権比率は6.39%（前期末比2.12ポイント増加）となりました。岩手県中小企業活性化協議会等、外部機関と連携しながら積極的事業再生に取組んでおります。



コアOHR（オーバーヘッドレシオ）

コア業務粗利益に占める経費の割合を示したものであり、令和5年度は経費削減に取組んだことにより、80.54%（0.01ポイント減少）となり、経費効率を高めております。



新中期経営計画のビジョン

（サステナブル経営の実現に向けた創造と挑戦『情熱大陸』作戦Ⅱ　2023.4～2026.3）

コーポレートメッセージ

「あなたのそばに、もっと身近に」

経営ビジョン

①将来にわたる盛岡信用金庫の存続と発展（組織風土プロセスの視点）
②職員の声を反映した働きがいのある職場（風土・文化の視点）
③お客さま満足度の向上（顧客の視点）

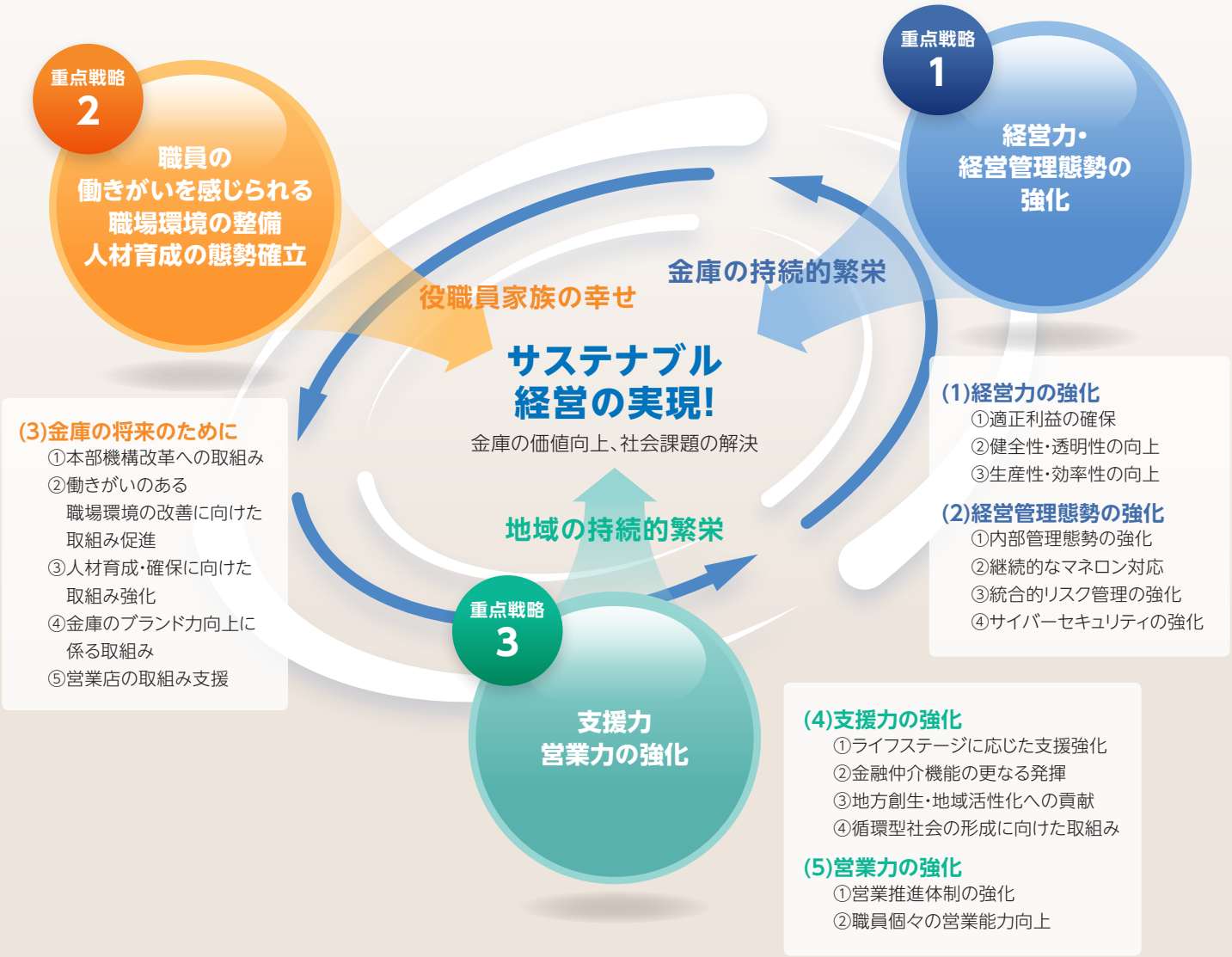
基本方針

地域で信頼される信用金庫を目指し、お客さまに寄り添い、お客さまの課題を解決するための良質な金融サービスの提供を目指していきます。

そのためには、課題解決を担う人づくりを進め、外部機関と連携しながらお客さまの満足度向上を目指します。

こうした積み重ねで、地域の信頼を得て、地域の発展・成長に貢献していきます。

①経営力・経営管理態勢の強化
②職員が働きがいを感じられる職場環境の整備と人材育成の態勢確立
③地域の支援力・営業力の強化



SDGsへの取組み

当金庫は、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の達成に、より一層貢献していくことを目的として、盛岡信用金庫「SDGs宣言」を策定しました。また、岩手県内の6信用金庫（盛岡信用金庫・宮古信用金庫・一関信用金庫・北上信用金庫・花巻信用金庫・水沢信用金庫）で、「SDGs共同宣言」を公表いたしました。

今後も、「地域経済」「地域社会」「地域環境」の3つの側面からお取引先をはじめ、地域社会が抱える課題の解決と持続可能な社会の実現に努め、地域金融機関としての使命を果たしてまいります。

「ブルズクリニック」を実施

令和5年8月4日、岩手ビックブルズのコーチ、選手とともに盛岡市立高等学校を訪問し、「ブルズクリニック」を実施しました。当日は、同校バスケットボール部員37名が参加し、プロの技術・技能等を学びました。

本事業は、当金庫創立120周年記念事業の一環として、株式会社岩手ビックブルズと連携し、地域貢献、さらには「SDGs宣言」目標に基づく取組みに資するべく実施した企画です。

盛岡信用金庫×フコクしんらい生命保険株式会社「SDGs共同寄付」寄付金贈呈

当金庫は、フコクしんらい生命保険株式会社と、SDGsの達成に向けた取組みの強化、地域社会への貢献を目的として、保険販売を通じた共同寄付の取組みを実施しています。

令和5年9月12日、社会福祉法人岩手県社会福祉協議会に寄付金を贈呈いたしました。

文化事業の開催

もりしんPresents「追悼　瀬戸内寂聴展」に特別協賛しました。

本企画展は、故 瀬戸内寂聴 師の“心に残ることば”を会場に散りばめ、法話映像や秘蔵資料とともに膨大な著書や幅広い活動の軌跡、華やかな交遊録が一堂に展覧されました。

「Little Bee of Hachimantai～わくわくおしごとたんけん広場」への参加

令和5年9月24日、八幡平市総合運動公園体育館および周辺施設において八幡平市の小中学生を対象に開催された「Little Bee of Hachimantai～わくわくおしごとたんけん広場」に参加しました。

当金庫では、岩手銀行平舘支店と連携してブースを設営し、金融機関の仕事として、模擬紙幣でお札の数え方、機械を使ったお札の数え方・束ね方、1億円の重さ等を体験していただきました。

子育て世帯をサポート

18歳未満のお子さまをお持ちの世帯、母子家庭、父子家庭の世帯を対象に、預金・融資商品の金利優遇サービスを行う「子育て支援事業」に平成20年7月から取組み、地域の子育て支援を積極的にサポートしています。

「地域課題解決に関する連携協定」を締結

令和5年12月1日、当金庫と株式会社ネクストは、「地域課題解決に関する連携協定」を締結しました。

本協定は、相互の資源を有効に活用し、地域のDX・IT化推進を通じた地域活性化へ貢献していくことを目的としています。

盛岡市内3つの児童養護施設へ書籍を寄贈（最終回）

令和6年1月19日、盛岡市内3つの児童養護施設［みちのく・みどり学園、青雲荘、和光学園］に対し、書籍等（30万円相当）をそれぞれ贈呈しました。

当金庫創立120周年記念事業の一環として、お取引先支援、地域貢献、さらには「SDGs宣言」目標に基づく取組みに資するべく、令和3年度から3年連続して書籍を寄贈しました。

岩手県体育協会に対し寄付金贈呈

当金庫は、岩手の子供たちのスポーツ振興や育成支援を通じて地域社会へ貢献することを目的とした「岩手の子供たちを応援！もりしんスマイル9」定期預金キャンペーンを、令和5年6月19日から9月29日まで実施しました。

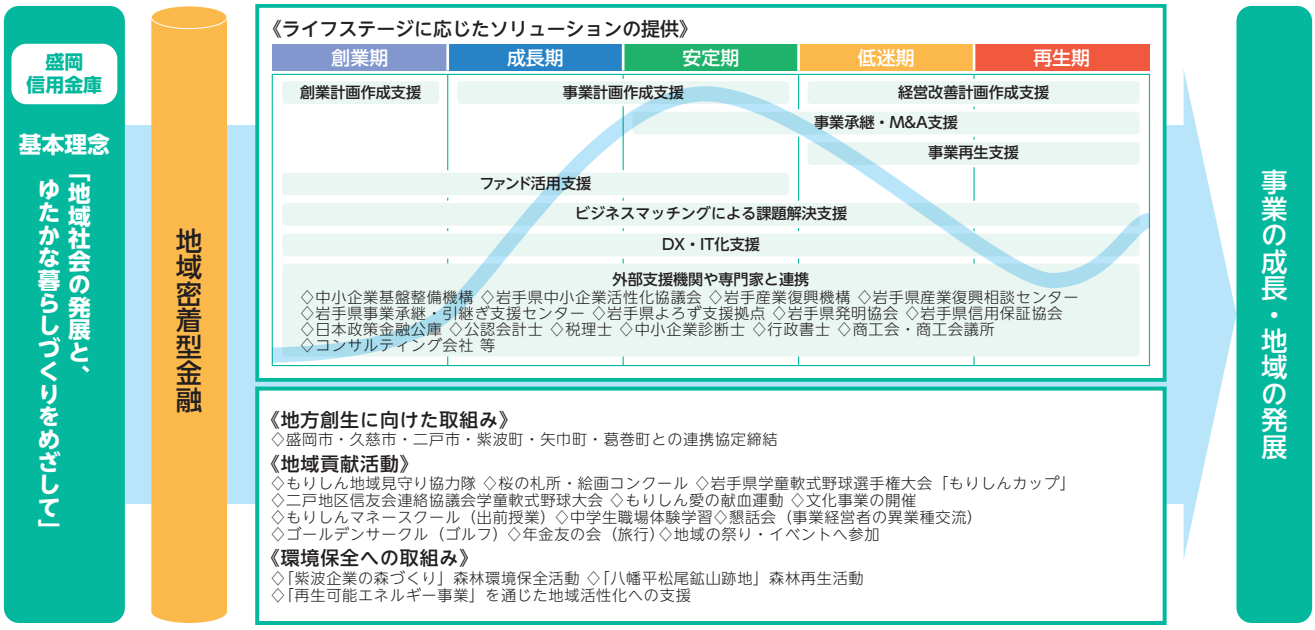
本キャンペーンは、本定期預金契約残高の0.01％相当額を寄付することとしており、令和6年3月14日、公益財団法人岩手県体育協会［会長 岩手県知事 達増 拓也 様］に対し寄付金を贈呈しました。

「象と花（ゾウトハナ）」プロジェクト「古本回収（寄付）ボックス」の設置

「もりおかSDGsファンド」投資先である株式会社盛岡書房（代表取締役 高舘 美保子様）の「古本回収（寄付）ボックス」を当金庫23店舗に設置し、お客さまをはじめ当金庫役職員から古本の寄付を募っています。令和3年8月から令和6年3月までに、書籍等21,574冊の寄付を受付しました。

令和3年8月から開始した「象と花（ゾウトハナ）」プロジェクトは、病気とたたかう子供たちへ、読み終えた本を循環させ新しい本に替えて贈ることで、子供たちと読書のよろこびを分かち合う取組みです。

当金庫は、「地域社会の発展と、ゆたかな暮らしづくりをめざして」を基本理念として、地域の皆さまから「愛され」「信頼される」地域金融機関を目指して、地域密着型金融の推進に取組んでいます。



事業支援・事業再生支援

中小企業の経営支援に関する取組み方針

- 地域金融機関の使命として、中小企業の事業活動の円滑な遂行とお客さまの生活安定のために、貸付条件の変更等や円滑な資金供給に努め、金融の円滑化に取組んでまいります。
- 人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、各方面と連携して取組んでまいります。
- 金融仲介機能を発揮し、お客さまのニーズや課題に応じた融資やソリューション（解決策）の提供を行うほか、外部支援機関や専門家と連携し、事業の成長や地域経済の活性化に貢献してまいります。
- 経営革新等支援機関（認定支援機関）として新規事業支援や事業再生支援のほか、各種補助金等の活用促進に努めてまいります。

中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けているお客さまから、資金需要や貸付条件の変更等のお申し出があった場合には、これまでと同様に経営課題に応じた最適な解決策をお客さまの立場に立って提案し、実行支援を行う態勢を整備しています。
- 「もりおかSDGsファンド」を設立し、SDGsや地域課題解決に寄与する事業者に対し、資金確保や事業経営の課題に対応する態勢を整備しています。
- 「とうぎん・もりしんアグリファンド」を設立し、農林水産業に関わる事業者を出資や経営支援の面から支え、岩手県の基幹産業である農業を中心とした一次産業の発展・活性化につなげる支援を行う態勢を整備しています。
- 中小企業の経営改善および事業再生に向けて、本部に専門部署を設置し、独立行政法人中小企業基盤整備機構、岩手県中小企業活性化協議会、岩手県よろず支援拠点、コンサルティング会社等の外部支援機関や専門家と連携して、お客さまの抱える課題等に対応できる態勢を整備しています。
- 中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に寄与することを目的に、株式会社日本政策金融公庫および株式会社商工組合中央金庫と「業務提携・協力に関する覚書」を締結し、当金庫と公的金融機関の機能や特性を活かしながら、お客さまの抱える課題の総合的な解決方法を提案できる態勢を整備しています。
- 東日本大震災により被害を受けた中小企業のために、岩手産業復興機構、岩手県産業復興相談センター等と連携し、継続した支援を行っています。
- 事業承継、M&A仲介業務の強化策として、岩手県事業承継・引継ぎ支援センター、株式会社日本政策金融公庫、コンサルティング会社等と連携して支援を行う態勢を整備しています。

中小企業の経営支援に関する取組み状況

- 「もりおかSDGsファンド」の投資により、SDGsや地域課題解決に寄与する事業者の支援に積極的に取組んでいます。「もりおかSDGsファンド」設立からの投資金額は15社114百万円です。
- 「とうぎん・もりしんアグリファンド」の投資により、岩手県内の農業法人等の発展・活性化支援に積極的に取組んでいます。「とうぎん・もりしんアグリファンド」設立からの投資金額は5社154百万円です。
- 令和5年度は、重点支援対象先として26先を選定し、営業店と本部が連携して経営改善に努めたほか、外部支援機関と連携して経営改善計画書の策定支援や事業再生のアドバイスを行うなど、より実効性の高い支援に取組みました。
- 事業の悩み、課題解決の一助として、岩手県よろず支援拠点との合同相談会を開催し、令和5年度は22事業先の相談を受けました。
- 経営者保証に関するガイドライン研究会が公表した「経営者保証に関するガイドライン」および事業承継時に焦点を当てた同ガイドラインの特則の趣旨や内容を十分に踏まえ、経営者の保証を免除する、または経営に関与しない第三者の方の保証は求めない等の対応に努めています。今後もガイドライン等の趣旨を踏まえ、適切に対応するとともに、担保・保証に過度に依存することなく、企業価値や将来性を重視した融資に積極的に取組んでまいります。なお、令和5年度において、新規に無保証で融資した件数は590件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は51.57%、保証契約を解除した件数は24件、当金庫をメイン金融機関とした保証債務整理の件数は1件でした。

経営者保証に関する取組み方針

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）の趣旨や内容を踏まえ、同ガイドラインを融資慣行として浸透・定着していくために、以下のとおり取組みます。

- お客さまから融資等資金調達のお申込みを受けた場合、当金庫ではお客さまのガイドラインの要件の充足や経営状況等を総合的に判断する中で、経営者保証を求めない可能性や経営者保証の機能を代替する融資手法（一定の金利の上乗せ等）を活用する可能性について、お客さまの意向を踏まえたうえで検討いたします。
- 上記の検討を行った結果、経営者保証を求めることがやむを得ないと判断し、経営者保証を提供いただく場合、当金庫はお客さまの理解と納得を得ることを目的に、保証契約の必要性等に関する丁寧かつ具体的な説明を行います。
- お客さまから既存の保証の変更・解除等の申入れがあった場合は、ガイドラインに即して改めて経営者保証の必要性や適切な保証金額等について真摯かつ柔軟に検討を行うとともに、その検討結果について丁寧かつ具体的な説明を行います。
- お客さまからガイドラインに基づく保証債務整理の申し出を受けた場合には、ガイドラインに即して誠実に対応いたします。
- 割引手形や保証付きの個人事業主への融資における経営者保証を原則不要といたします。

経営支援力の向上

- お客さまの資金繰り改善支援や事業再生支援、目利き力向上等のコンサルティング機能の発揮に向けて継続的に研修会を行っています。
- 令和5年度は、独立行政法人中小企業基盤整備機構から講師を招いて「財務分析研修」・「事業承継実践インターバル研修」を実施し、お客さまの経営支援に関するサポート力の向上を図りました。
- 東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センターが主宰する「地域イノベーションアドバイザー塾（RIAS）」へ当金庫職員を塾生として派遣し、企業経営と事業革新に関する知識や支援に必要な実践的なスキルを習得、「地域イノベーションアドバイザー」の資格を取得し、お客さまの革新的事業の創出に向けた支援を行っています。

○ファンドの紹介

【もりおかSDGsファンド】

「もりおかSDGsファンド」は、地域における社会課題の解決・SDGs（持続可能な開発目標）、起業家・経営革新企業の創出、コロナ禍からの復活を投資テーマとし、盛岡広域圏の自治体との連携のもと、SDGsに基づく17のゴールの達成および社会課題解決に取組む企業へのリスクマネーの供給と経営に対するハンズオン支援を通じ、事業の成長、雇用拡大、地元経済・産業の発展に貢献するものです。

当ファンドは、当金庫、盛岡市、滝沢市、矢巾町、FVC Tohoku株式会社との共同出資により設立され、のちに紫波町が加入しました。ファンド総額は199百万円、設立から令和6年3月末までの投資実績は15社114百万円です。

【とうぎん・もりしんアグリファンド】

「とうぎん・もりしんアグリファンド」は、ファンドによる「資本に対するリスクマネーの供給」を通じ、岩手の基幹産業である農業を支援しています。

当ファンドは、当金庫、株式会社東北銀行、株式会社日本政策金融公庫、株式会社AGSコンサルティングとの共同出資により設立されました。ファンド総額は200百万円、設立から令和6年3月末までの投資実績は5社154百万円です。

農業法人投資育成事業にかかるファンドの信用金庫と地方銀行による共同設立は、全国初の取組みです。

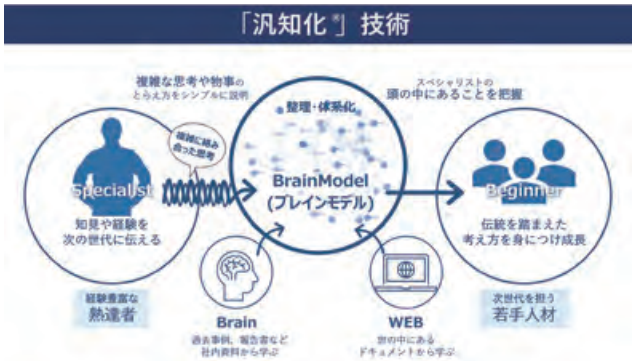
○投資先の紹介

【もりおかSDGsファンド】

株式会社LIGHTz（ライツ）

株式会社LIGHTz（代表取締役 乙部 信吾 様）は、熟練技術者の考え方、ノウハウを可視化した「ブレインモデル」を作成し、AIを活用した『ナレッジ共有システム』、3Dデータによる『設計支援システム』、『設備保守管理システム』等のソリューションを開発・提供しています。

同社の技術は、若手従業員の教育や業務のマニュアル化・効率化に資することから、自動車メーカーをはじめ、金属加工、機械、食品など多くの製造現場で採用されているほか、「南部鉄器」「有田焼」「加賀友禅」などの伝統技術のデジタル化支援にも活用されています。



盛岡市では盛岡中央公園「ビバ・テラス」を運営する事業者の一社として参画。施設内では「南部鉄器」への興味と知識を醸成するべく「てつびんの学校」という市民講座も開催され、「南部鉄器」の技術継承に広く貢献しています。

また、同社の技術は、伝統工芸の承継のみならず、人口減少による地域消滅、後継者不足による伝統工芸の断絶などの社会課題の解決にも寄与します。さらに、新たな地域産業の創出による人口維持などについて期待されている点も評価し、ファンドによる支援を行いました。

【もりおかSDGsファンド】

Nearly equal株式会社（ニアイコール）

Nearly equal株式会社（代表取締役 久ケ澤 茜 様）は、オンラインを活用し利用者の特性に合わせて多彩な作業を提供できる「B型就労支援事業所」を運営しています。

現状では、利用者のスキルややりたいことと与えられる作業内容とのミスマッチが起き、利用者のやりがいが後回しにされています。そこで同社はカフェスタッフ、SNS運用代行、店舗・ハウスクリーニング、グラフィックデザインなど多彩な作業内容を提供し、競合との差別化を図っています。

地域における人手不足は加速の一途を辿り地域経済の大きな課題となっています。同社のサービスを通じ、スキルはあるものの何らかの理由で就労が困難な方たちの就労機会を生み出すとともに、人手不足の解消という地域課題解決に貢献することが期待され、ファンドによる支援を行いました。

○岩手県よろず支援拠点との連携

全国初の取組みとして、事業の悩み・課題解決の一助を目的に、平成26年12月から岩手県よろず支援拠点との合同相談会を開催し、これまでに延べ582事業先（令和6年3月末時点）の相談を受けました。

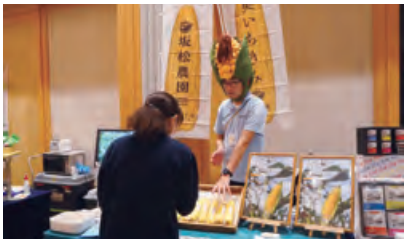
岩手県よろず支援拠点では、単なる問題点の指摘や現状分析に終わらず、強みを見つけ、具体的な戦略を立て、成果に導く支援をしています。令和4年度からは、Zoomによるオンライン相談に対応し、最寄りの営業店で相談できる態勢を整えています。

○ビジネスマッチング・販路拡大支援等

「ビジネスマッチ東北」をはじめ、全国の信用金庫ネットワークを利用して、首都圏の信用金庫等が主催するビジネスフェア、物産展へ多くのお取引先企業を推薦し、県内外に向けた販路拡大の支援を通じてお取引先企業の発展に貢献しています。

東北地区

●令和5年6月13日
「いわて食の大商談会2023」
（岩手県、盛岡信用金庫他主催）



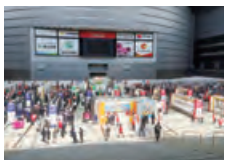
●令和5年11月8日
第18回「ビジネスマッチ東北2023」
（東北地区信用金庫協会他主催）

●令和5年12月9日～10日
「とうぎん・もりしん・きたしん・LiViTマルシェ」
［盛岡信用金庫、株式会社東北銀行、北上信用金庫、JR東日本東北総合サービス株式会社（呼称：LiViT）盛岡営業支店共催］

首都圏

●令和5年5月15日～19日
「第17回 東京発！物産・逸品見本市」
（西武信用金庫主催）

●令和5年6月7日
「さいたまの中小企業力（そこぢから）さいしんビジネスフェア2023～彩・発・見！Saitamaサステナブルスタイル～」
（埼玉縣信用金庫他主催）



●令和5年10月11日
第18回しんきんビジネスマッチング「ビジネスフェア2023」
（東海地区信用金庫協会主催）

●令和5年10月26日
「第12回さわやか信用金庫物産展」
（さわやか信用金庫主催）

●令和5年11月14日
「第23回ビジネスフェア」
（西武信用金庫主催）

●令和5年11月17日
「ひがしんビジネスフェア2023つなぐ・つながる・つなげる『つなぐ力』で未来を創る」
（東京東信用金庫主催）

●令和5年11月21日～22日
「2023“よい仕事おこし”フェア 地域を応援！信用金庫がつなぐ大商談会」
［よい仕事おこしフェア実行委員会主催（事務局 城南信用金庫）］

○紫波町脱炭素社会の実現に向けた連携に関する協定締結

令和5年5月15日、当金庫は、紫波町、東日本電信電話株式会社岩手支店、NTTアノードエナジー株式会社、合同会社北上新電力、株式会社ビオストック、株式会社エルテス、株式会社東北銀行の8者で、再生可能エネルギーの地産地消および地域資源循環による持続可能な地域経済循環の実現などを目的とした協定を締結しました。

脱炭素先行地域選定証

○地方創生の連携に関する協定

当金庫は、地域活性化に資することを目的として、盛岡市、久慈市、二戸市、矢巾町、紫波町、葛巻町並びに特定非営利活動法人wizと地方創生に係る連携協定を締結しています。

盛岡市	平成28年 3月24日「地方創生の連携に関する協定」締結 平成31年 2月 6日「産業振興の連携に関する協定」締結
久慈市	平成27年 2月23日「地域経済活性化に向けた包括連携に関する協定」締結
二戸市	平成28年12月 9日「地方創生の連携に関する協定」締結
矢巾町	平成28年 5月11日「地方創生の推進に関する包括的連携協定」締結
葛巻町	令和 5年 1月23日「地域活性化に向けた包括連携協定」締結
紫波町並びに 特定非営利活動法人wiz	令和 2年 1月28日「地方創生に向けた地域人材の育成に関する協定」締結

○もりしん「地域見守り協力隊」

もりしん「地域見守り協力隊」の活動は、日常生活および通常業務の中で、子ども・女性・高齢者を含む、地域で生活するすべての住民が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、自治体、警察署並びに消防署等関係機関との連携協力を図り、不測の事態を未然に防ぎ、地域の安心・安全を見守りおよび支援する「良き企業市民」としての役割を果たすことを目的としています。

これまでに、盛岡市をはじめ8市町と協定を締結し活動しています。

盛岡市	令和2年 7月 8日「地域において支援を必要とする者の把握に関する協定」締結
滝沢市	令和2年11月 2日「地域見守り協力に関する協定」締結
矢巾町	令和2年11月 4日「地域において支援を必要とする方の把握に関する協定」締結
二戸市	令和2年12月 2日「地域において支援を必要とする方の把握に関する協定」締結
八幡平市	令和2年12月23日「八幡平市高齢者等見守りネットワーク事業に関する協定」締結
遠野市	令和3年 1月26日「地域見守り活動に関する協力協定」締結
紫波町	令和3年 2月17日「紫波町における地域の安全・安心と活性化に関する連携協定」締結
久慈市	令和3年 3月 9日「久慈市地域見守り協力事業に関する協定」締結

○地域の祭り・イベントへの参加

一年を通して積極的に地域の行事に参加しています。

盛岡市「盛岡さんさ踊り」、遠野市「さくら祭り」、二戸市「二戸まつり」など、地域のお祭り・イベントに役職員が参加しています。

○第37回岩手県学童軟式野球選手権大会「もりしんカップ」

平成26年度から岩手県野球協会が主催する「岩手県学童軟式野球選手権大会」へ特別協賛しています。

第37回岩手県学童軟式野球選手権大会「もりしんカップ」は、令和5年8月5日・6日・7日の日程で、雫石町営野球場と雫石町営鶯宿グラウンドA・B・Cを会場に開催されました。

本大会は、岩手県下より各地区の予選を勝ち抜いたスポーツ少年団32チームが出場し、闘志あふれる熱戦が繰り広げられました。

【優勝】花巻西南JBC（花巻市代表）

○第37回二戸地区信友会連絡協議会学童軟式野球大会

平成20年度から二戸地区信友会連絡協議会が主催する「二戸地区信友会連絡協議会学童軟式野球大会」へ後援・協賛しています。

第37回二戸地区信友会連絡協議会学童軟式野球大会は、令和5年10月7日に葛巻町総合運動公園野球場を会場に開催されました。

本大会は、二戸地区から選抜されたスポーツ少年団4チームが出場し、ファイトあふれるプレーが繰り広げられました。

【優勝】福岡ジャガーズ（二戸信友会）

○観光招致活動

平成23年の東日本大震災を機に、全国の信用金庫のネットワークを活用し、岩手県内への観光招致活動を行っています。

令和5年度は、2信用金庫125名の皆さまがご来県され、平成23年度から11年間にわたり延べ28信用金庫、7,148名の皆さまがご来県されました。

当金庫では、ご来県された皆さまへ御礼と感謝の気持ちを込め、当金庫の「さんさ踊り同好会」による「盛岡さんさ踊り」の披露や、訪問地の地方公共団体等と連携し歓迎セレモニーを開催しています。

○第7回「もりしん愛の献血運動2023」～6月15日は信用金庫の日～

昭和26年（1951年）6月15日に「信用金庫法」が公布・施行されたことにちなみ、6月15日を「信用金庫の日」と定め、全国の信用金庫が毎年地域に密着した取組みを実施しています。

当金庫では、令和5年6月～12月の期間中、第7回「もりしん愛の献血運動2023」を実施し、役職員とその家族が献血をしました。

○もりしんマネースクール（出前授業）

地域の小学校を訪問し「お金の使い方や金融機関の仕事」について学ぶ「マネースクール」を開催しています。平成20年度より、小学校延べ46校120クラス、3,992名の児童を対象に開催しました。

○中学生職場体験学習

職場体験・就労体験を通じ、その職業の魅力、社会人に求められることや働くことの大切さ、職業選択の考え方などを学ぶ総合学習の一環として、平成27年度より中学校延べ17校123名の生徒を対象に実施しました。

令和5年度は、中学校1校9名の生徒を対象に、金融機関の基本業務を説明する他、営業店業務の見学等を実施しました。

○第11回盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」

平成25年の春から、子供たちに自然を大切にする心・郷土を愛する心を育み、子供たちが心豊かでたくましく成長することを願い、盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」を開催しています。

第11回目となる令和5年春のコンクールには、30校1団体の児童より1,362点の作品をご応募いただき、内34点を受賞作品として選定しました。

第11回盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」
【盛岡信用金庫理事長賞】
桜を描いた場所：絆の桜並木
盛岡市立仙北小学校5年生　高橋 励さん

応募作品展示会

会場：パルクアベニュー・カワトク7階ロイヤルルーム他

入賞作品展示会

会場：盛岡駅南北自由通路「わんこロード」

○サークル活動

「もりしん懇話会」

事業経営者の異業種交流・親睦を深めることを目的として、各営業店単位で組織しています。

講演会、親睦会などを開催しており、気軽に情報交換ができる場として好評を得ています。

令和5年度は、「最新デジタルを使った業務効率化・高度化の取組み」と題し、株式会社ネクストによる地域事業者のDX・IT化の促進に係る講演会を開催しました。

「ゴールデンサークル」

お取引いただいているお客さまの中で、ゴルフを楽しまれる方々のサークルです。

ゴルフを通じて親睦を深めるとともに、会員同士の交流によりビジネスマッチ等の接点を得る機会と捉え、取引の拡充を目的としてゴルフコンペを企画し開催しています。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染防止策を講じて開催しました。

開催日：令和5年7月5日 ／ 安比高原ゴルフクラブ／231名参加
開催日：令和5年10月4日 ／ 南部富士カントリークラブ ／225名参加

「もりしん年金友の会」

当金庫で年金をお受け取りいただいているお客さまや、年金振込のご予約をいただいているお客さまのサークルです。定期預金の金利優遇や、年金受給中の方にはお誕生日プレゼントの特典があります。

※令和5年度年金プレゼント「若狭塗箸&ランチョンマット」（赤・青）

○「紫波企業の森づくり」森林環境保全活動

森林を整備し、水源涵養など森林の公益的機能の向上を目的として、平成23年11月、紫波町と「紫波企業の森づくりに関する協定」を締結しました。

本活動は、紫波町における燃料供給態勢確立へ向けての支援事業の一環として、平成24年から令和8年までの15年間にわたり実施します。

森林整備を通じ、二酸化炭素吸収、水源涵養、土砂流出防止等のほか、間伐によって搬出された木材は、木質チップとして再資源化することにより地域内のエネルギーとして活用されます。

第12回目となる令和5年度の活動は、令和5年6月17日に新入職員10名他計33名の役職員が参加し、これまでの経緯説明の他、ラ・フランス温泉館の再生可能エネルギー設備の見学、「令和の森」育樹作業とクヌギの苗木10本を植樹しました。

○「八幡平松尾鉱山跡地」森林再生活動

平成20年度より、荒廃裸地化した鉱山跡地を森林に戻そうと八幡平松尾鉱山跡地に「友情の森」と名付け、森林再生活動に取組んでいます。

これまでに植樹した苗木は1,000本を超え、最初に植樹した苗木は9m超の樹木に成長したものもあり、少しずつ森が形成されています。

○「再生可能エネルギー事業」を通じた地域活性化への支援

再生可能エネルギーを活用した事業を継続的に推進・支援することで、「地産地消方式」の環境ビジネスの確立に取組んでいます。

自治体等への提案を行い地域内で得たエネルギーを地域内で消費し、エネルギー代として地域外へ流出していた資金を地域内で循環させていくエネルギー版「地産地消方式」を積極的に促進しています。これにより、新たなビジネス・雇用を創造するとともに地域の活性化を目指しています。

なお、紫波中央駅前の再開発（オガールプロジェクト）において、紫波町役場、商業施設、宿泊施設、住宅へ木質バイオマスを利用した地域熱供給事業を行うための、エネルギーステーション建設計画を支援しました。また、森林整備を行い、生じた間伐材は地域の公共温泉施設等でチップボイラーの燃料として使用されます。

○お客さまのために

お客さまにご満足いただける商品・サービスを提供するために、店頭・ATMコーナーに「ご意見箱」を設置し、お客さまのご意見ご要望をお寄せいただいています。

○サービス向上・改善に向けた具体的取組み

お客さまからのご意見やご要望をもとに、これまで取組んでまいりました主な施策を紹介させていただきます。

●「拡聴器」を各営業店窓口に設置

●「杖ホルダー」を各営業店窓口に設置

●「コミュニケーションボード」「筆談ボード」を各営業店窓口に設置

●ATMは全台「視覚障がい者対応ATM」を導入

●ATMを利用した特殊詐欺被害の防止を目的とした「注意喚起マット」を設置

●本店駐車場に「障がい者用駐車スペース」を設置

●「消毒ステーション（センサー式消毒液噴射器）」の設置

●認知症サポーター養成講座・高齢者疑似体験講座を役職員が受講しています。

店舗移転および店舗新築のお知らせ

この度、葛巻支店を葛巻町新庁舎内に移転（令和5年5月29日）し、青山町支店を新築（令和5年8月14日）いたしました。

移転および新築により、当金庫はより一層、地域を守り、お客さまに寄り添い、さまざまな課題を解決するための良質な金融サービスの提供に努めてまいります。

なにとぞ今後とも、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

葛巻支店

青山町支店

Instagram公式アカウント開設について

この度、当金庫はInstagram公式アカウントを開設しました。

当金庫のことについて、お客さまをはじめとする地域の皆さまに、より身近に感じていただけるような情報を発信しています。

当金庫の取組みや商品だけでなく、地域の情報なども積極的に発信していきたいと思いますので、ご愛顧のほどよろしくお願いします。

皆さまからのフォローを、ぜひお待ちしております。

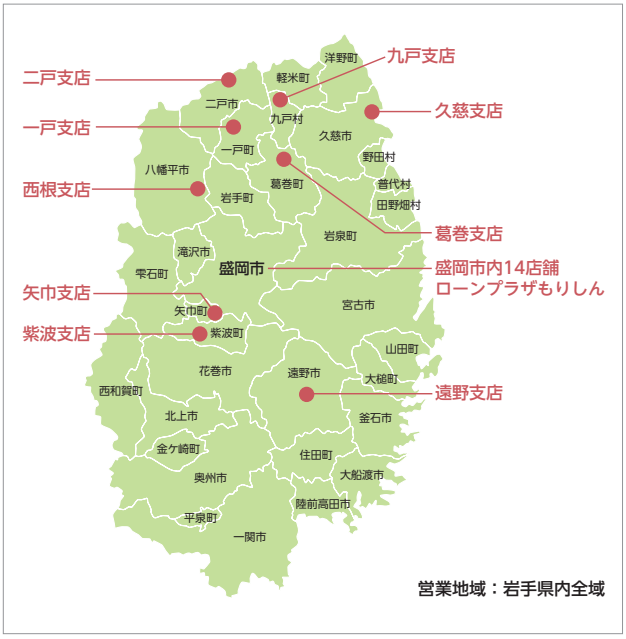
- URL：https://www.instagram.com/morishin1150
- Instagramの公式アカウント：@MORISHIN1150

アカウントQRコード

@MORISHIN1150

●店舗インフォメーション・キャッシュサービスコーナー（ATM）（令和6年7月1日現在）

店舗所在地			店内キャッシュサービスコーナー
店舗名	所在地	電話	平日ご利用時間 土・日ご利用時間 祝日ご利用時間
本店	盛岡市中ノ橋通一丁目4番6号	(019) 623-2221	8：00～21：00
仙北町支店	盛岡市仙北一丁目14番11号	(019) 636-0022	
材木町支店	盛岡市材木町6番6号	(019) 623-6277	
大通支店	盛岡市大通一丁目6番15号	(019) 623-6227	
本町支店	盛岡市本町通一丁目9番26号	(019) 623-6257	
青山町支店	盛岡市青山三丁目30番1号	(019) 647-1181	
厨川支店	盛岡市厨川一丁目10番5号	(019) 641-1185	
都南支店	盛岡市津志田中央二丁目1番5号	(019) 638-3535	
高松支店	盛岡市高松四丁目1番10号	(019) 661-8136	
山岸支店	盛岡市山岸二丁目12番22号	(019) 652-5911	
松園支店	盛岡市松園一丁目20番25号	(019) 662-0101	
天昌寺支店	盛岡市北天昌寺町5番5号	(019) 646-7441	
東支店	盛岡市中野一丁目21番6号	(019) 624-6465	
みたけ支店	盛岡市みたけ四丁目4番16号	(019) 641-1330	
紫波支店	紫波郡紫波町日詰字郡山駅236番地1	(019) 676-2141	
矢巾支店	紫波郡矢巾町大字又兵ェ新田第7地割194番地1	(019) 697-8800	
西根支店	八幡平市大更第23地割98番地3	(0195) 76-2611	
久慈支店	久慈市中央二丁目1番地	(0194) 53-3281	
遠野支店	遠野市中央通り1番17号	(0198) 62-3247	
二戸支店	二戸市福岡字中町15番地	(0195) 23-2141	
一戸支店	二戸郡一戸町一戸字向町18番地の1	(0195) 33-3141	
葛巻支店	岩手郡葛巻町葛巻第16地割1番地1	(0195) 66-3311	
九戸支店	九戸郡九戸村大字伊保内第10地割10番地1	(0195) 42-2141	
ローンプラザもりしん（六日町本部）	盛岡市下ノ橋町2番14号	0120-160-656	窓口営業時間 平日（土日、祝日、12月31日～1月3日を除く） 9：00～17：00



●店舗外キャッシュサービスコーナー

	平日ご利用時間	土・日ご利用時間	祝日ご利用時間
六日町 滝沢市役所 イオンモール盛岡南 ビッグハウス巣子店 アクロスプラザ盛岡みたけ 二戸中央 二戸市役所浄法寺総合支所	8：00～21：00		
紫波町役場	8：00～20：00		
流通センター（ラポール盛岡内）	8：00～19：00	土曜8：00～17：00	休業
マリオス	9：00～18：00	休業	
DCM西根店	9：00～20：00		
ベルフまつぞの ユニバースサンタウン松園店 ショッピングコートみたけ 盛岡南ショッピングセンターサンサ DCM盛南店	9：00～21：00		
パルクアベニュー・カワトク	10：00～19：00		
ニコア	10：00～20：00		

●共同利用キャッシュサービスコーナー

	平日ご利用時間	土・日ご利用時間	祝日ご利用時間
盛岡地区合同庁舎	8：00～18：00	休業	
盛岡駅 岩手医科大学トクタヴェール	8：00～21：00		
ユニバース久慈SC店	9：00～21：00		
一戸町役場	8：00～19：00	土曜8：00～19：00	休業
盛岡市役所	9：00～17：30	休業	
盛岡南ショッピングセンター 一戸ショッピングセンター	9：00～20：00		
ビッグハウス川久保店 イオンモール盛岡	9：00～21：00		
アネックス・カワトク	10：00～19：00		

■ご入金について

当金庫キャッシュサービスコーナーにおいて、信用金庫・ゆうちょ銀行・信用組合・労働金庫・一部の第二地方銀行のキャッシュカードによるご入金ができます。
（現金の「出金」と同じ手数料がかかります。提携を行っていない金融機関がございますので、事前にお取扱金融機関にご確認ください。）

■お振込について

当金庫のキャッシュカードは、信用金庫、都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信用組合、労働金庫のキャッシュサービスコーナーで「お振込」ができます。
また、当金庫キャッシュサービスコーナーにおいて、信用金庫、都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信用組合、労働金庫のキャッシュカードによる「お振込」ができます。（「振込手数料」と「ATM利用手数料」がかかります。）

■手数料について

平日8時から8時45分、18時以降と土曜日8時から9時、14時以降および、日曜日、祝日のご利用は延長手数料110円がかかります。
全国の信用金庫間の手数料は、平日8時45分から18時まで、土曜日9時から14時までは無料となります。（土曜日は、一部の信用金庫で終日有料となります。他行設置の共同利用のキャッシュサービスコーナーも有料となります。）
全国のゆうちょ銀行、銀行などのキャッシュサービスコーナーでもご利用いただけますが、手数料の金額が異なる場合がありますので、事前にお取扱金融機関にご確認ください。

令和6年度入庫式

当金庫野球部（第67回東北地区信用金庫野球大会優勝）

ディスクロージャー誌（資料編）に係るご案内

信用金庫法施行規則第132条および第133条並びに金融庁告示による開示項目等については、“ディスクロージャー2024・盛岡信用金庫の現況（資料編）”をご覧ください。

ディスクロージャー誌（資料編）は、当金庫のホームページからご覧いただけます。なお、インターネットに接続できる機器（パソコン、スマートフォン等）をお持ちでないお客さまは、当金庫職員までご相談ください。

●当金庫のウェブサイト
（ディスクロージャー誌の掲載ページ）
https://www.shinkin.co.jp/morishin/about/?id=disclo

※なお、スマートフォン等からは、
こちらでもアクセスすることができます。

盛岡信用金庫

ディスクロージャー2024・盛岡信用金庫の現況
〒020-0871　盛岡市中ノ橋通1-4-6
TEL 019-623-2221
URL https://www.shinkin.co.jp/morishin/

Face to Face

本ディスクロージャー誌は、水資源や森林資源の利用を抑えた石灰石からなる新素材「LIMEX（ライメックス）」を使用しています。当金庫は、今後も限りある資源を大切にし、環境に配慮したSDGsの取組みを継続してまいります。

廃棄に際しては古紙回収に出さず、可燃ごみとして取扱いください